



外国出張報告書

平成 27 年 10 月 12 日

1. 出張国名 マレーシア
2. 出張月 平成 27 年 7 月
3. 出張目的 1.CP との択伐林データの共同解析、経済評価、成果公表の打合わせ
 2.エンリッチメント植栽木の毎木調査と試験地整備：C
4. 成果の概要

本研究プロジェクトの成果出版物として、論文集 *Journal of Tropical Forest Science* の特集号の企画と投稿の促進を行った。半島マレーシア丘陵林の重要なフタバガキ科樹種である *Shorea curtisii* の植栽成績に影響する立地要因についてカウンターパートと共同解析を行い、植林地サイズが最も重要であることを明らかにした。カウンターパート機関における有用樹種、非有用樹種の整理により伐採年数が経過した択伐林では非有用樹種の割合が少なくなる傾向が認められた。植栽方式が異なる植栽林の植栽 23 年後の毎木調査により、*Shorea parvifolia* は植栽列数が多いほど大径木の割合が増える傾向が認められた。